

## 福生市町会長協議会 会報

## ちいき

《発行》 福生市町会長協議会 会長 溝淵幸太郎

## もし、福生で災害が起きたら…

近年、日本各地で地震の被害が相次いでいます。いつ起きるのか分からない大地震…。わたしたちが住む福生市も例外ではありません。

町会・自治会では、自主防災組織を運営し、災害時に必要な物資を備え、防災訓練を行うなど、地域の安全安心を守る活動を行っています。

## 【地域を守る「自主防災組織」】

自主防災組織は、町会・自治会区域を単位として編成した組織です。

平常時には防災知識の普及や啓発、地域内の安全や設備の点検、市の総合防災訓練を始めとした各種防災訓練などを行っています。

万が一、災害が発生した場合には、情報を収集して迅速に住民に伝え、初期消火活動、被災者の救出や避難誘導、避難所の運営などの役割を担います。



総合防災訓練



軽可搬式消防ポンプ

## 【自主防災の備え】

自主防災倉庫には、軽可搬式の消防ポンプ（一部の倉庫）や災害救助用の工具セット、チェーンソーなどの消火・救助活動に必要な道具や、移動式炊飯器や毛布などの避難生活に必要なものが備えられています。

自主防災組織は、そうした備品の管理や点検等の役割も担っています。

## 【地域の防災力を高めよう！】

食糧や水を備蓄する、家族で避難経路や連絡方法を確認するなど、一人一人の備えが大切なのはもちろんですが、大規模災害時には、公的な防災機関だけで同時多発する市内の被害に対応するのは難しくなることが予想され、また個人がバラバラに行う活動だけでは限界があります。被害をできるだけ小さくし、いち早く立ち直るためには、地域ぐるみで協力し、助けあう「共助」の取組みが不可欠です。

実際に、阪神・淡路大震災では、要救助者35,000人のうち約8割が家族や近隣者により救出されたと言われています。

日頃から地域に住む人たちが活発にコミュニケーションを取り合い、気軽に協力できる温かい人間関係を育むことで、地域の防災力を高めることにつながります。

# 加入していますか？町会・自治会



(写真) 災害図上訓練 (自地図に防災上重要な施設・人材、要援護者のいる場所を書き込んでいく訓練)の様子

日頃からつながりが 大きな力に…

阪神・淡路大震災の震源に近い淡路島北淡町では、震度7を記録し、多くの人が倒壊家屋の下敷きとなりました。しかし、北淡町では、地域の人々が日常の暮らしを通じてお互いのことをよく知っていたので、瓦礫の下に埋もれている人の位置を正確に推定し、速やかな救助活動を行い、当日中に住民の安否確認をすることができたそうです。

いざというときに地域の力を発揮し充分な対応をするためには、日頃から住民同士がコミュニケーションを深めていくことが大切です。

## 町会・自治会に加入すると

まず、地域の人たちと顔見知りになり、地域に住む人たちが互いに支えあい、気軽に協力できる温かい人間関係が育まれます。

そうした人間関係が育まれることで、災害が起きたときに大きな効果を発揮するだけでなく、見守りが必要な高齢者の発見や子どもの見守りなど、地域の事件や事故を未然に防ぐことにつながります。

### どうやって加入するの？

地域の町会・自治会には、どんなでも加入できます！

地域の町会・自治会に御連絡ください。

※お住まいの地域の町会・自治会が分からない場合は、福生市協働推進課（電話551・1590）までお問合せください。

広告掲載スペース

広告掲載スペース

### どんなことをしているの？

町会・自治会は、一定の区域に住んでいる人たちで組織する、より住みよい地域づくりを目指して活動している自主的な団体です。

現在、福生市内では34の町会・自治会があり、互いに支えあいながら、にぎわい、うるおいをもたらす、さまざまな活動をしています。

### 支えあい

- ・ 防犯パトロール、災害時に備えた自主防災組織の運営、防災訓練など地域の安全安心を守る活動
- ・ あいさつ運動、声かけ運動など子どもたちの健全育成に取り組む活動
- ・ 資源回収、町内清掃、花いっぱい運動など、まちを美しくする活動

### にぎわい

- ・ 夏祭り、盆踊り、もちつき大会、その他町会・自治会独自のイベントの開催

### うるおい

- ・ 運動会、ラジオ体操、市民総合体育大会への参加など地域住民の健康づくりを進める活動
- ・ 敬老会、募金活動など福祉に関する活動

### 加入促進運動を行います！

福生市町会長協議会では、町会や自治会を通じて、市民の皆さんのいきいきとしたコミュニケーションが図れるように、今秋を町会加入促進運動期間として加入促進を図っていきます。

10月26日に開催される「福生ふれあいフェスティバル」の健康まつりのブースでは、「エコバッグの配布や凧づくりを行う他、11月には加入促進月間として、あいさつ運動や見守り活動のなかで、町会等の理解促進を図っていく予定です。

※この事業は「平成20年度東京都地域の底力再生事業助成」の対象事業です。

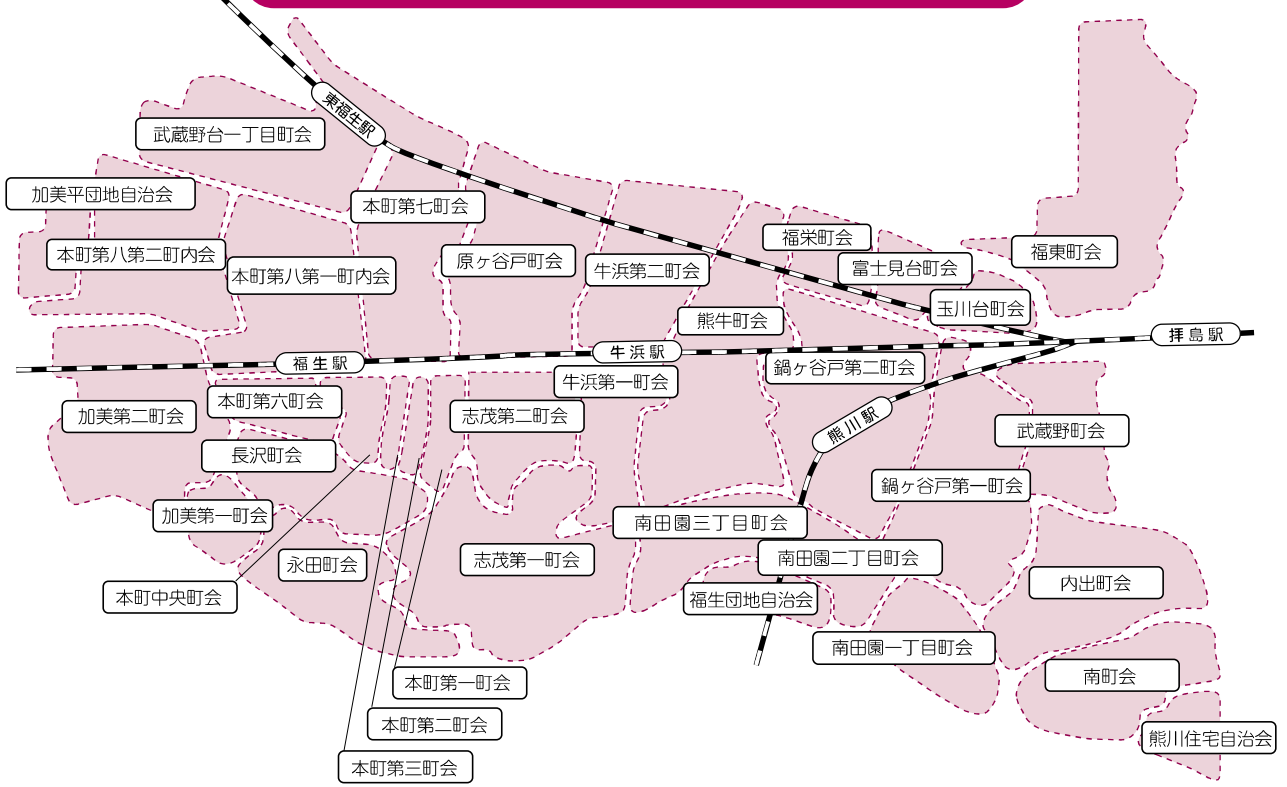
### 10月はあいさつ運動月間です

あいさつで豊かな心とまちづくり

(あいさつ運動標語 第一席)

地域での元気なあいさつが、まちを輝かせます。皆さんのご協力をお願いします。

### あなたはどの町会・自治会ですか？





# わたしたちの町会・自治会

親睦を深める環境を目指して  
熊川住宅自治会 遠山さだ子

熊川住宅がここ熊川の地に建てられたのは、あの東京オリンピックの前の年、昭和38年のことで、平成15年に団地40周年のイベントを盛大に執り行いました。

場所は、福生市の東南に位置し、昭島市拝島町に都道で隣接、西側に多摩川の清流を臨む集合住宅で、自治会員は348世帯です。

自然環境に恵まれ、早春の白いコブシの花、住宅内を巡る市道141号沿いの桜並木の花トンネル、夏はケヤキ大木のもとで緑陰ラジオ

体操を行い、秋、心の中まで彩られるような紅葉、冬、葉を落とし高くなった青空の南西の方角には、新雪の名峰富士山が臨めます。

住宅内の各サークル活動は、小地域活動「こぐまサロン」、「南老人クラブ」、「ダンス同好会」、「趣味の会」、「カラオケクラブ」、「山雅会」と多種多彩に活躍しています。

また「防犯対策推進員」による住宅内パトロール、「青少年子ども対策」が企画する季節ごとのイベント活動。

毎月1回集会場で開催される自治会協賛の「健康講座」では、身近な情報を習得し、恒例の毎夏のメインイベントである「団地祭」



健康講座

には、全員協力して活性化を図っています。

昨今、身辺を取り巻く諸問題の多くが複雑化し、個人個人ではなかなか対応が難しくなっており、すが、力を寄せ合う組織としての自治会を多くの方に認識していただきたい、と考えております。

## 最大の行事「ほたる祭」

熊牛町会 高橋 勉

熊牛町会の正式名称は熊川牛浜町会です。それは地番が大字熊川字牛浜であるところからつけられたものです。また位置的には福生市の中央寄りにあり、北は五日市街道、東は国道16号線、西は奥多摩街道、南は一中付近までの範囲です。

そして、当町会の数ある行事の中でも最大の行事は「ほたる祭」です。この「ほたる祭」は、福生市の三大祭りの一つと自負していますが、反面盛大になりすぎ、全町会役員が取り仕切らなければならぬので役員の負担もたいへんです。

「ほたる祭」は昭和38年頃、玉川上水にホタルが異常発生したのがきっかけで始めたそうです。し

かし、羽村の堰の玉川上水の護岸工事でのセメントのアクや水を止めたことや上水が干し上がったことが原因で、ホタルの幼虫や餌となるカワニナが死滅したためにホタルが見られなくなりました。そのため、当町会の会員を中心にホタル研究会が発足し、ホタルの乱舞が再び見られるようにホタルの飼育に取り組んでいます。

今年43回目を迎え、昨年ほたる公園でホタルの盗難があり、このことがマスコミに取り上げられ、また天候にも恵まれたことで4万1千人（町会発表）の来場者で賑わいました。当町会の「ほたる祭」はホタルの鑑賞だけでなく、町会・他町会の各団体の模擬店及び民舞・ダンス・吹奏楽・和太鼓・カラオケ・舞踊等の演芸も披露していますので遠方からの来場者も多く、幼児から高齢者まで楽しんでいただいています。

この他にも独自の事業として世代間交流ゲートボール大会があります。これは三世代（祖父母・父母・子ども世代）が一緒にゲートボールを楽しみながら交流を持ち、お互いに知り合うことで子どもの見守りにも役立たせたいと思っています。また、防災研修旅行は町

会会員の防災意識の向上と会員の親睦を図って、毎年バス3台で近隣の防災センターへ行っていきます。今年も行事があります。一部を紹介させていただきます。



にぎわう ほたる祭り

のジョギング、散策も十分楽しめます。福生団地自治会の行事を紹介します。

春の桜まつりは模擬店を出店、夏は盆踊り大会、冬はもちつき大会、年6回程度のふれあい喫茶、南田園地区4町会自治会合同の防災訓練、市の防災訓練、防災センターへの防災研修、親睦旅行、春の花の植栽、春・秋の全国交通安全運動、来客用の駐車場の管理、募金の集金、自治会ニュースの発行（団地内全戸配布）、資源回収は古紙、カン、ダンボールをリサイクルカレンダーの指定日に月5〜6回実施しています。

以上簡単に紹介しました。また、福生団地は都市再生機構が管理する公団住宅の自治会協議会に参加し、今は民営化という問題に直面している状態です。

いずれにしても、自治会員、住民のため幹事13名、集金配布責任者35名、老人会、桜会の協力を得て福生団地発展のため頑張っています。



もちつき大会

### 恵まれた環境

本町第一町会 種子哲男

本町第一町会の区域は、市のほぼ中央に位置し、ちょうど長方形の形をしています。その中を南北に走る新奥多摩街道と銀座通りが横切っています。徒歩、横幅約1分15秒、縦幅約4分と小さな区域に一戸建てやマンションが所狭しと立ち並んでおり、その中に市役所、商工会館、JA、武陽ガス、銀行、ひふみ公園等があり、福生駅やスーパ、郵便局も近く、便利さにおいては非常に恵まれた環境といえると思います。

おかげさまで回覧用紙を各組長さんに届けるのも、自転車を使え

ば、10分少々で置いて来られるので手間がかかりません。

世帯数は一戸建て93世帯、マンション90世帯（2棟）の合計183世帯（平成19年10月1日現在）と約半々です。

便利なあと感じるのは、市の最大のイベントである七夕まつりの開催期間です。市役所前のメイン会場が町内にあることで、好きなき気軽に民謡パレードやその他のパレード、模擬店等を見に行くことができ、暑さに耐えられなくなったら家に涼みに来られることです。

さて、恵まれた立地条件はこれくらいにして、夏祭りは盆踊りも一緒にやりますが、大半の子どもたちが参加して盛大に行われます。子どもも神輿なので子どもたちが担ぐのですが、みんな汗だく、その分食欲も旺盛、夜は花火大会でしめ、盛り上がっています。また、防災訓練にも数人ですが子どもたちが参加してくれるようになったことが嬉しい限りです。百聞は一見にしかず、やはり体験することは知識が身につくややすいと思います。

各町会・自治会も、いや全国的なことですが、当町会も高齢化し

### 行事の紹介

福生団地自治会 宮下義夫

福生団地は、多摩川堤防の桜並木を西に五日市線の南北に点在する、12階建て1棟、8階建て5棟、5階建て8棟で構成する独立行政法人都市再生機構が管理する公団住宅です。堤防に出れば遊歩道、中央公園があり、遠く西方向に日本一の富士山を眺め、健康のため

てきました。高齢者世帯や1人世帯も増えてきました。やはり年齢とともに身のこなしも鈍くなり、いざという時にはとても不安であ



楽しい 夏祭り

ることは私ばかりではないと思います。

平成22年4月1日より住宅用火災警報機の設置が義務付けられましたが、あと約1年半後に迫ってきました。ポスターや回覧でお知らせしてありますが、自分のために自分でできるよい機会なので、早めに備えるように町内にPRしていきたいと思えます。

秋には、本所防災館での研修会を予定していますが、この機会を利用して少しずつでも浸透していければと思います。参加してくださる方は、どちらかと言えば、高

齢者の方が多いのですが、よい機会だと思えますので、微力ながらPRしていきたいと思えます。

住み続けられる団地に

加美平団地自治会 西川雅博

私たちの住まいは、市の北、羽村市と接するところに位置する、東京都住宅供給公社の団地で、1032所帯で構成していますが、そのまとめを自治会が担っています。住民が少しでも住みやすくなるための意識向上と環境整備に努めています。

「団地を子どもたちのふるさとに」「いつまでも住み続けられる団地に」が願いです。

住民の親睦を考えて夏祭り、青空コンサート、防災訓練と、多様な催しをしています。特に夏祭りは創立40周年記念のみこしを中心に、焼き鳥、ビール、焼きそば、おもちゃなどの出店のほか、スイカ割り、ビンゴゲームが人気です。幼児向けのお菓子みこしもあり、帰りに子どもたちがお菓子をもち帰ります。今年、地域の第六小学校の金管バンドがデビューし、かわいい演奏をしました。また、初夏の頃行われる第二中学校吹奏

楽部の青空コンサートは、伝統ある行事のひとつで、新入生も加わり楽しく明るい選曲で毎年観客を楽しませてくれます。

このように、親睦を深めつつ、高齢化や頻繁に起こる災害と、自治会は住民が頼りになる組織として、身近なところから活動できるように、常日頃から目配り、気配りをしていかなければならないと考えています。

しかし、現実が高齢化で役員も不足がちであり辛いところですが、力を貸してくださる方が増えるように努力もしていかなければなりません。

私たちも含めて皆が元気になるには、市、地域に魅力あるものを見つけ、活き活きしたまちづくりが必要です。私たちもできるだけその活動に参加して、盛り上げていきたいと考えています。



お菓子みこし

〈編集後記〉

お読みいただきありがとうございます。

8月31日(日)に総合防災訓練に参加しました。震災時等災害図上訓練に取り組んでみて、理解しているつもりでも、分からないことがいかに多いか痛感しました。防災上重要な施設はまだしも、地域防災上有効な人材(医療・消防関係者等)、また災害時に支援を必要とする方の情報が町会には不足しています。

プライバシーの問題もありますが、地域の状況・活動の現状を見直さなければと思えます。

編集委員長  
編集委員

平成20年10月

森井常貴

持田 洸

田中 守

千葉 進

井上賢司